

TOTO

密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	--

注意	
	禁止 陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

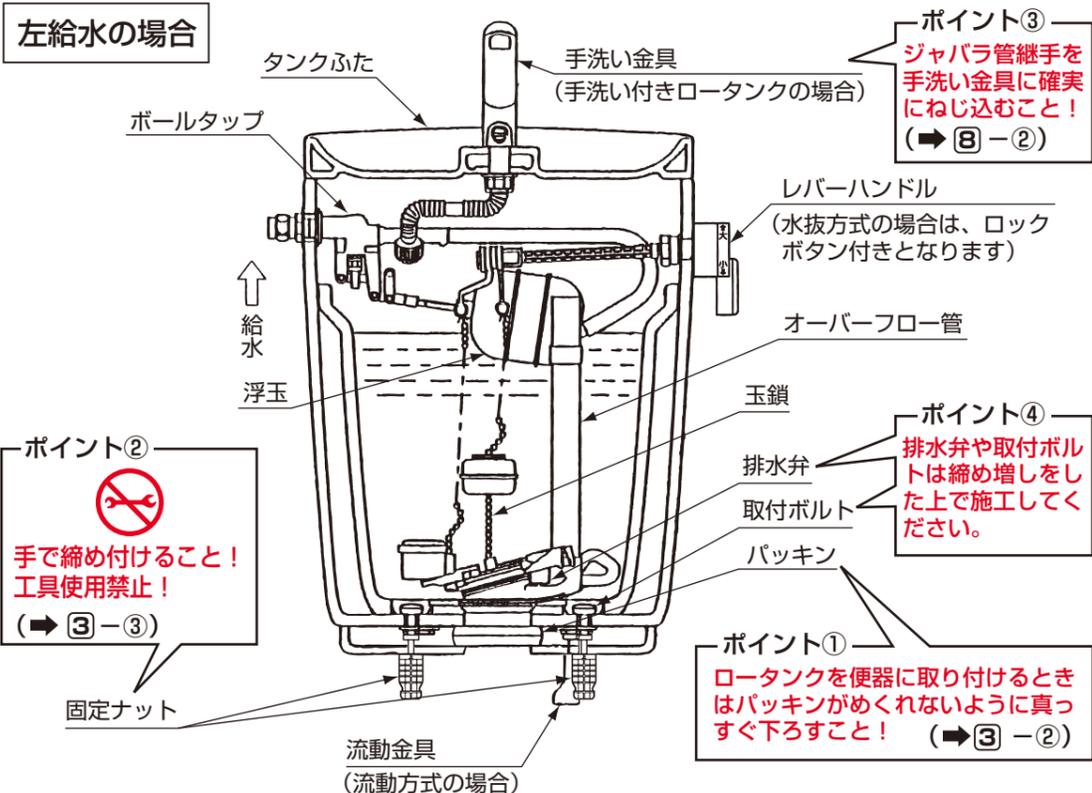
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

タンク本体 (ユニット)	タンクふた	固定ナット
(1セット)	(1個) ※略図は手洗い付きの場合を示す	(2個)
		パッキン
		(1個)
		手洗い金具
		(1セット) ※手洗い付きの場合のみ
		止水栓または給水管
または	または	
		※止水栓または給水管付きの場合のみ (1セット)
		流動用ハンドル
		※流動方式の場合のみ (1セット)
		その他
		施工説明書 (1部)
		取扱説明書 (1部)

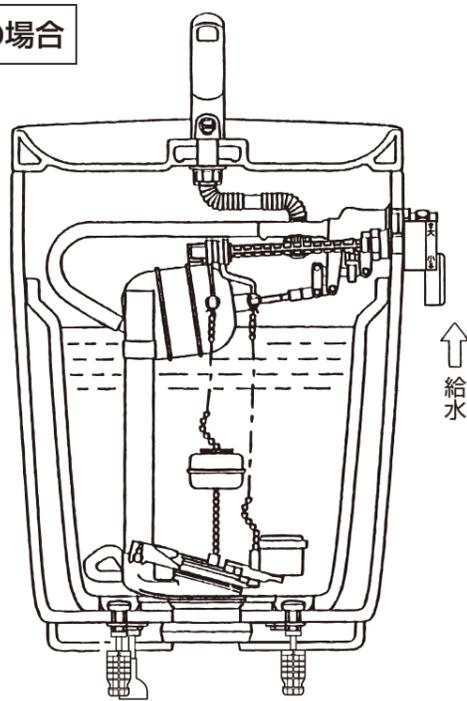
各部のなまえと施工のポイント

※図は流動方式の場合を示します。

左給水の場合



右給水の場合

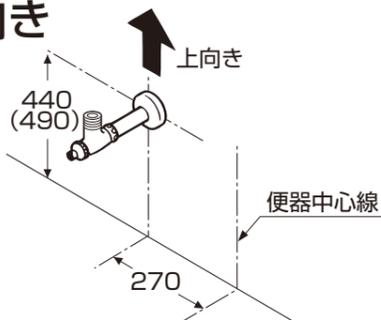


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

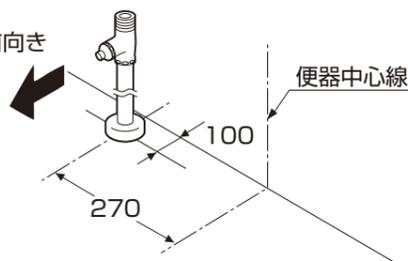
取付方法

1 止水栓の向き

〈左壁給水の場合〉



〈左床給水の場合〉



※器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

※右給水の場合は、便器中心線に対し左右対称になるように施工してください。

(単位: mm)

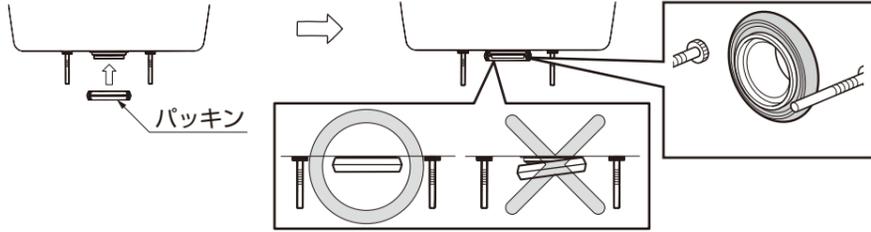
※ () 寸法は車いす対応を示す。

2 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

3 ロータンクの取り付け

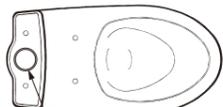
- ①ロータンクにパッキンを取り付ける。
※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



注意

- 同梱のパッキンを上図のように取り付ける
- パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する
正しく取り付けないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

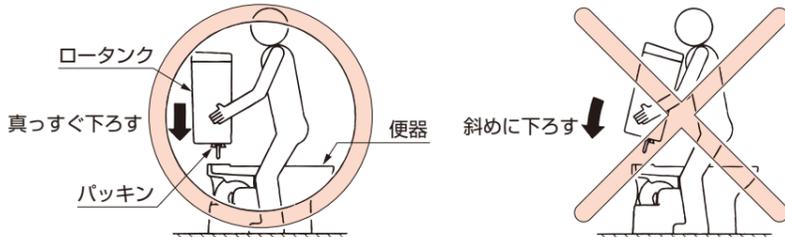
- ②ロータンクを便器に取り付ける。
便器給水口周辺のごみなどを完全に取除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。



便器給水口周辺のごみを取除く

下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。

※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



注意

- 禁止 **ロータンクを斜めに下ろさない**
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。
- 必ず実行 **パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く**
水漏れするおそれがあります。

- ③固定ナットでロータンクを固定する。

注意

- 必ず実行 **左右の固定ナットを確実に締める**
左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。

※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。

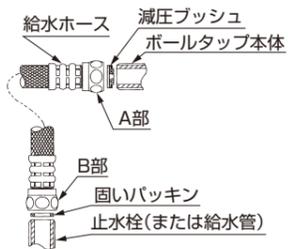


注意

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

4 ボールタップと止水栓の接続

A部を固定したあと、
B部を固定してください。



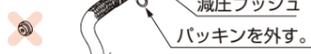
減圧弁プッシュの取り扱い

水圧が低く(0.1Mpa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎるときは減圧プッシュを外してセットしてください。
その場合、接続部には商品に付属のパッキンを使用してください。減圧プッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

(減圧プッシュをセットする場合)

(減圧プッシュをセットしない場合)

減圧プッシュは必ず図の向きに入れてください。



減圧プッシュ
パッキンを外す。

パッキン
減圧プッシュを外す。

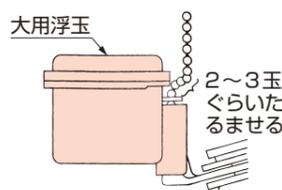
5 排水弁の作動確認

ボールタップと止水栓取り付け完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

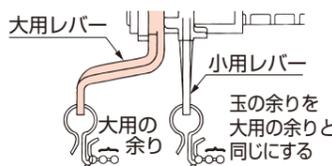
正常に作動しない場合には玉鎖の調節をしてください。

最初は玉鎖を調節せずに、そのままの位置でレバーを接続して動作を確認してください。レバーを大側に回したときは上下両方の弁が、小側に回したときは上側の弁のみが開くことを確認してください。正常に作動しない場合は次の手順で調整してください。

- ①初めに大用浮玉(ピンク浮玉)につながっている玉鎖を、排水弁操作部の大用レバー(ピンクレバー)につないだ状態で、玉鎖のたるみが、2~3玉ぐらいになるように調節する。



- ②小用の玉鎖を大用で調節したときに余った玉の数と同じ数だけ玉を余らせる。



同じにしないと洗浄不良になるおそれがあります。

6 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。

- ①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができる。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回る。90°回すと約8mm水位が変わる。(回す方向は上から見たものです)

- ・右回し…止水位が上がります。
- ・左回し…止水位下がります。

- ②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックする。

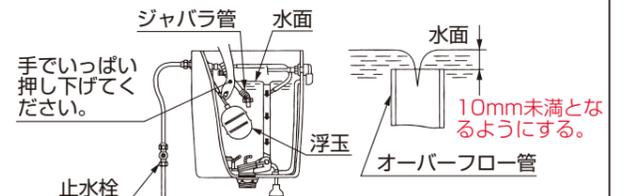


※洗浄不良防止のため、止水位は確実にあわせてください。



7 止水栓の調節

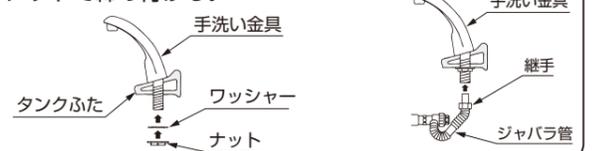
浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

8 手洗い金具の接続(手洗い付きロータンクの場合)

- ①タンクふたに手洗い金具を差し込み、ワッシャーをはめ、ナットで締め付ける。
②ジャバラ管の継手を手洗い金具にねじ込む。



9 手洗い金具の吐水量調節(手洗い付きロータンクの場合)

調節金具をドライバーなどで回し、手洗い金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。



10 取り付け完了後の確認

2~3度操作して、水漏れなどの異常がないことを確認してください。なお、冬期間の凍結予防方法についてはお客様にご説明ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品(BLマーク証紙貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(一財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。
(一財)ベターリビング ホームページ…<http://www.cbl.or.jp/>
電話番号…03-5211-0559